

# JPIC NEWSLETTER

通巻 221 号

2021 年 4 月 8 日

## 第76回 評議員会 第125回 理事会を開催

去る3月25日(木)、出版クラブビルおよびオンライン(Zoom)にて第76回評議員会並びに第125回理事会を開催いたしました。

当日は、肥田理事長が怪我により出席できず、堀内丸恵副理事長が議長に選任され、議事を進行しました。

【第1号議案 2020年度事業報告案並びに収支見通し】については、「コロナ禍でリアルイベントの多くが延期・中止対応となる中、代替策としてははじめたONLINEプログラムが、想定以上の成果を得ることができた。JAPAN LIBRARYなどの翻訳出版事業も拡充し、事業収支は黒字で終わられそう」旨を報告し、了承されました。

【第2号議案 2021年度事業計画並びに収支予算案】は、「コロナ禍でも対応できるよう、リアル・オンライン双方で計画立案。それに加え、新たな調査研究事業として、『紙とデジタルの共存』『出版界としてのSDGs』などを検討・研究する」旨を説明し、了承されました。事業計画・予算は、まもなく、JPICホームページにも掲出する予定です。

【第3号議案 定款の一部変更について(理事定数増)】【第4号議案 役員の一部交代について】【第5号議案 専務理事・常務理事の互選について】は、関係性が深い議案のため、小柳専務理事より、一括して説明・提案をいたしました。

<退任理事> 小柳貴史 (JPIC専務理事)  
<新任理事> 松木修一 (トーハン 執行役員)  
金田 徴 (日本出版販売  
仕入流通本部部长)

※就任は4月21日付

<互選>専務理事 松木修一、常務理事 金田 徴  
以上、いずれも満場一致にて承認されました。



オンラインを併用し開催された当日の様子

## JPIC ONLINE 2020年度は50回超を開催しました

3月は子ども部2回、大人部4回の計6つのプログラムを開催いたしました。

3月6日(土)は絵本紹介プログラム・JPIC絵本アワー「こんにちは、絵本たち！」(ガイド役：安富ゆかりさん・JPIC読書アドバイザー)の第6回を開催。「3・11」をテーマに絵本を紹介、東日本大震災から10年の歳月が過ぎましたが、震災の記憶を伝え、また知ることの大切さを参加の皆さんと共有しました。

13日(土)・27日(土)はフランス文学者の高遠弘美さん(明治大学教授)による連続講座「『失われた時を求めて』で挫折しないために」の第2回、第3回を開講。回を経るごとに申し込みが増えていった本講座は各回200名を超える受講者を得ることができました。

20日(土)は午前、第2回親子で読んでほしい絵本大賞(JRAC主催)を受賞した『あるへラジカの物語』(原案:星野道夫、文/絵:鈴木まもる)についてのイベントを配信しました。受賞作家 鈴木まもるさんに作品の制作過程や星野道夫さんとの思い出、またご専門である鳥の巣についてお話しいただきました。

午後は永江朗さんの連続講座「これからの本・読書・出版界」の最終回となる第6回は「これからの本を売るしごと」をテーマに、田口幹人さん(楽天ブックスネットワーク)をゲストに迎えてお届けしました。書店の現場や流通に精通する田口さんに、出版業界の現状や新しい小売の形、またご自身の現在の活動についてお話を伺いました。永江さんは「これからの出版界を考える上で前向きな視座が得られたのではないかと半年に渡る連続講座を締め括られました。

賛助会員の皆様には、無料でご参加いただいたり、共同企画での開催にも取り組んでいます。関心のある方は、ぜひご連絡ください。



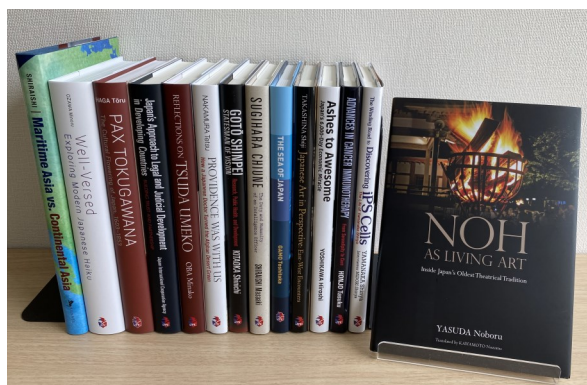
ホストの永江さん(左)とゲストの田口さん(右)

## ＜JAPAN LIBRARY＞シリーズ 12タイトルを刊行

内閣府の翻訳出版事業JAPAN LIBRARYシリーズでは、3月に12タイトルを刊行しました。日本の優れたノンフィクション作品の英訳出版を通じて日本の魅力を海外に発信する同シリーズは、文化・アート・科学から政治・歴史・経済まで幅広い分野において、これまでに約70冊を刊行してきました。

今年度は、能楽師・安田登氏による入門書『能：650年続いた仕掛けとは』（新潮新書）、俳人・小澤實氏による近現代俳句の解説書『名句の所以』（毎日新聞出版）など海外でもnoh、haikuと定着しつつある日本文化を取り上げた作品から、『山中伸弥先生に人生とiPSについて聞いてみた』（山中伸弥/聞き手：緑 伸也/講談社+α新書）『がん免疫療法とは何か』（本庶佑/岩波新書）とノーベル生理学・医学賞を受賞した両氏によるサイエンス系読み物、また日本発の国際貢献活動を伝える『世界を変える日本式「法づくり」』（国際協力機構 編/文藝春秋企画出版部）、『天、共に在り』（中村 哲/NHK出版）などがシリーズに加わりました。

2020年度内に刊行した全14作品は、3月末に国内外の大学図書館、シンクタンクや在外公館等約1,100か所へ向けて寄贈しました。



JAPAN LIBRARYシリーズ

また、2020年度は日本国際問題研究所との英訳出版シリーズでも7タイトルを発行しました。こちらは政治・外交・歴史分野の書籍の英語版シリーズで、国内外の大学図書館等約1,000ヶ所へ寄贈し、研究、読書に活用いただきます。

JPICの英訳書籍は、大学テキストに採用されたり、海外の翻訳賞を受賞したりと、一定の評価を得ています。また、一般書店や大学生協、オンラインストアでも販売し、多くの研究者・読者にご購読いただいています。

## JRAC×「この本読んで！」 第2回「親子で読んでほしい絵本大賞」 贈賞式 開催

第2回「親子で読んでほしい絵本大賞」贈賞式が3月16日(火)出版クラブにて開催されました(主催:JPIC読書アドバイザークラブ [JRAC] 協力:JPIC)。

栄えある大賞は『あるへらジカの物語』(星野道夫:原案/鈴木まもる:作/あすなる書房)。星野道夫氏の奥様である星野直子さんと鈴木まもるさんを当日お迎えし、JRAC代表幹事の洞本昌哉さん(ふたば書房代表取締役)から賞状贈呈や、JRAC会員による作品朗読がありました。鈴木さんは「2年前、夢のなかに(絵本の)最後の場面が出てきて、この写真を元に作品を作ろうと思った。子どもたちに命の循環について感じてもらいたい」と制作背景を語りました。星野さんは「受賞は彼の写真があったからこそ。きっと喜んでくれていると思う。この本が多くの人の手に渡ることを願っている」と喜びを語りました。JPICでは当日の様々と鈴木さんのインタビューを3月20日(土)JPIC ONLINEで配信しました。



原案 星野道夫氏の奥様 星野直子さんと作者 鈴木まもるさん

## JPIC 2021の事業がスタートします

第28期「JPIC読書アドバイザー養成講座」は8月28日(土)よりスクーリングとONLINEを併用し開催します。また「子どもと本」「おはなし会」の講習会として「JPIC読みきかせサポーター講習会」を7月3日(土)神奈川会場を皮切りに、全国17会場にて開催を予定しています。

いずれも感染症予防対策を行い、読者の学びの機会を増やすようカリキュラムを新しくして実施いたします。詳細は5月中旬よりJPICホームページに掲載いたします。

NEWSについてのお問合せや詳細資料ご希望の方は、事務局までお申し付け下さい。  
JPIC HPアドレス：<https://www.jpica.or.jp>  
**賛助会員様のイベント情報を発信します！**  
文責:中泉 淳(nakaizumi@jpica.or.jp)